

神奈川県内の公立小学校 2 校における上下可動式黒板の落下事故について

1. 概要

神奈川県内の公立小学校 2 校（相模原市及び平塚市）において、上下可動式黒板の落下事故が発生。児童各 1 名が軽傷を負った。

2. 事故の状況

<相模原市>

平成 26 年 12 月 15 日（月）午後 1 時 40 分頃、児童が家庭科室の上下可動式黒板を拭いていたところ、黒板が壁面から外れて垂直に床に落下・転倒。児童 1 名が下敷きとなり、右肩に軽い打撲を負った。

<平塚市>

平成 27 年 3 月 16 日（月）午後 1 時 20 分頃、理科室で、清掃のため、児童が理科室の上下可動式黒板を操作していたところ、黒板が壁面から外れ、傾倒。児童 1 名が頭に軽い打撲を負った。

3. 事故の原因

<相模原市>

黒板は、上枠を壁に留め付けることで、上枠のみで黒板全体の荷重を支えて設置されていた。しかし、上枠と左縦枠をつなぐ樹脂製の部品が経年劣化により断裂したことにより、左縦枠と下枠が外れ、2 枚の黒板が落下した。なお、当該黒板は昭和 63 年頃に設置されたものであった。

<平塚市>

黒板は、上枠及び下枠を埋込式ネジ固定金具*及びネジ（太さ約 5mm、長さ約 20mm）によりモルタル仕上げのコンクリート壁に取り付けられていたが、壁の劣化に加え、可動時の振動等によるネジの緩み、埋込式ネジ固定金具の金属疲労など複合的な要素が重なり、上枠の埋込式ネジ固定金具及びネジが抜け、枠ごと 2 枚の黒板が外れて傾倒した。なお、当該黒板は平成 12 年に設置されたものであった。

*埋込式ネジ固定金具：一般的にカールプラグと呼ばれるもの。

4. 設置者の対応

<相模原市>

事故が起きた小学校に対しては、上下可動式黒板の使用を中止するよう指示した上で、市内全ての公立小中学校に対し、上下可動式黒板の安全点検を行うよう指示。その結果、小学校 10 校、中学校 1 校において、上枠と左右の縦枠をつなぐ樹脂製の部品が劣化して上枠と左右の縦枠の間に隙間が空くなど、改修が必要な黒板が発見されたため、修理・交換した。

<平塚市>

事故が起きた小学校に対しては、上下可動式黒板の使用を中止するよう指示した上で、市内全ての公立小中学校における設置状況を市職員が調査・点検した。全公立小中学校43校のうち38校に、計124台の上下可動式黒板が設置されていたが、点検の結果、ただちに落下の危険性のある黒板は見受けられなかった。しかし、上下可動式黒板のうち、2枚上下式の黒板については、念のため、補強を行った。

<事故の状況（相模原市）>

(全体の状況)



(左縦枠)



(上枠)



<事故の状況（平塚市）>

（全体の状況）



（埋込式ネジ固定金具（カーンプラグ）の状況）



（黒板が設置されていた壁の状況）

